



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月10日

上場会社名 昭和パックス株式会社 上場取引所 東
コード番号 3954 URL <http://www.showa-paxxs.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野寺 香一
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 清水 貴雄 TEL 03-3269-5111
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	6,235	11.6	659	57.4	781	50.0	557	53.7
2026年3月期第1四半期	5,588	6.3	418	63.3	521	41.5	362	△19.9

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 1,281百万円 (369.7%) 2026年3月期第1四半期 272百万円 (79.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	127.08	—
2026年3月期第1四半期	82.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	38,723	28,321	72.4	6,386.52
2026年3月期	36,921	27,476	72.3	6,084.82

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 28,036百万円 2026年3月期 26,712百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	20.00	—	30.00	50.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2026年3月期期末配当金の内訳 普通配当20円00銭 記念配当10円00銭

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	13,500	12.8	1,250	52.5	1,350	45.0	1,050	61.3	239.18
通期	25,000	6.1	1,850	13.3	2,150	15.1	1,350	5.2	307.52

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

業績予想の修正につきましては、本日（2026年8月10日）公表いたしました「2027年3月期業績予想に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 （3）四半期連結財務諸表に関する注記事項 （四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	4,450,000株	2026年3月期	4,450,000株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	60,025株	2026年3月期	59,994株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	4,389,980株	2026年3月期1Q	4,390,006株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(追加情報の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間(2026年4月1日～2026年6月30日)における当社グループの経営成績は主力のクラフト紙袋の販売数量が伸び悩みましたが、中東情勢緊迫化によるフィルム製品の先取り需要などが影響して連結売上高は6,235百万円で前年同期に比して646百万円の増収でした。営業利益659百万円(前年同期比240百万円の増益)、経常利益781百万円(同260百万円の増益)および親会社株主に帰属する四半期純利益557百万円(同194百万円の増益)となりました。

セグメントの経営成績を示すと、次のとおりであります。

○重包装袋

重包装袋部門の主力製品であるクラフト紙袋の業界全体の当第1四半期連結累計期間出荷数量(ゴミ袋を除く)は、前年同期比2.0%の増加となりました。農水産物、米麦、その他食品及びその他の用途は前年同期の数量を上回りましたが、合成樹脂、化学薬品、塩、セメントの用途が大きく減少しました。重包装袋の主原材料であるクラフト紙の価格は、物流費の高騰や労務費の増加など全般的なコスト上昇が影響し値上がりし、その後は高止まりで推移しています。

当社の売上数量は前年同期比1.8%の減少となりました。業界の傾向に同じく農水産物、米麦、その他の食品の用途は前年同期の数量を上回りましたが、合成樹脂、化学薬品の用途が業界の傾向と同じく減少しました。

子会社の九州紙工㈱の売上数量は、米麦及び茶用途にて増加し全体では前年同期から20.7%の増加となりました。タイ昭和パックス㈱の当第1四半期連結累計期間(1～3月)は、タイ及び周辺諸国の経済減速により、売上数量は前年同期比8.5%の減少となりました。山陰製袋工業㈱の当第1四半期連結累計期間(1～3月)は、ユーザーの増産及び米麦用途での先取りがあり、売上数量は前年同期比5.4%の増加となりました。

当セグメントの当第1四半期連結累計期間売上高は3,924百万円で、前年同期に対し221百万円の増収となりました。

○フィルム製品

フィルム製品の業界全体の当第1四半期連結累計期間の出荷量は、前年同期から産業用、農業用ともに増加となりました。主原材料であるポリエチレン樹脂の価格は、中東情勢緊迫化の影響により高騰し、物流費や労務費など諸経費も上昇が続いていることから高水準で推移しました。また、供給制約の発生により調達面にも影響を及ぼしました。

当社の売上数量は、産業用・農業用ともに増加し、合計では前年同期比12.8%の増加となりました。産業用では、シュリンクフィルム「エスタイト」、ポリスチレンフィルム「エスクレア」、一般広幅フィルム、パレットストレッチ用フィルム「エスラップ」は増加しましたが、マスキングフィルム「HQF」、建設現場被覆保護用フィルム「アスベストシート」は減少しました。農業用では、ハウスフィルム「キリヨケバーナル」「フルーツ物語」「農サクビ」「牧草ストレッチフィルム」など全般的に増加しました。

当セグメントの当第1四半期連結累計期間売上高は1,402百万円で、前年同期に対し368百万円の増収となりました。

○コンテナ

フレキシブルコンテナの業界の当第1四半期連結累計期間の出荷量は、国内生産品と海外生産品を合わせると、飼料及びその他の用途において前年を上回りましたが、化学工業品、合成樹脂、食品の用途で減少しました。また、海外からの輸入量全体は前年から減少となりました。

当社のフレキシブルコンテナ「エルコン」の売上数量は、前年同期比11.4%の増加となりました。液体輸送用1,000ℓポリエチレンバッグ「エスキューブ」は、前年同期比0.9%の増加となりました。大型ドライコンテナ用インナーバッグ「バルコン」は、前年同期比46.4%の減少となりました。

当セグメントの当第1四半期連結累計期間売上高は448百万円で、前年同期に対し65百万円の増収となりました。

○不動産賃貸

当セグメントの当第1四半期連結累計期間売上高は61百万円で、前年同期に対し僅かに減収となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当社グループの当第1四半期連結会計期間末総資産は38,723百万円で、前連結会計年度末に比べて1,802百万円増加しました。主な増加要因は受取手形及び売掛金390百万円、電子記録債権120百万円、棚卸資産114百万円および投資有価証券1,246百万円です。

(負債)

負債合計は10,401百万円で、前連結会計年度末に比べて957百万円増加しました。主な増加要因は支払手形及び買掛金227百万円、その他流動負債425百万円および繰延税金負債375百万円、主な減少要因は賞与引当金172百万円です。

(純資産)

純資産合計は28,321百万円で、前連結会計年度末に比べて845百万円増加しました。主な増加要因は子会社株式の追加取得による資本剰余金191百万円、利益剰余金426百万円およびその他有価証券評価差額金847百万円、主な減少要因は為替換算調整勘定101百万円および非支配株主持分478百万円です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、前年同期に比べると増収増益となりました。第2四半期以降は中東情勢緊迫化による先取り需要の反動が懸念されますが、引き続き販売数量の伸長、採算の確保、諸経費の抑制に努めて利益を確保してまいります。当連結会計年度(2026年4月1日～2027年3月31日)通期の業績見通しにつきましては、本日発表いたしました通り連結売上高25,000百万円、連結経常利益2,150百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,350百万円を見込みます。

なお、連結子会社である㈱ネスコにおいて、同社の取引先に対する債権につき期日が経過しても売掛金が入金されない事態となり、取立不能のおそれ又は取立遅延が生じております。詳細は添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(追加情報の注記)」をご覧ください。当該回収の見込額が算定できた時点で速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,644,589	9,670,465
受取手形及び売掛金	6,092,793	6,483,331
電子記録債権	1,027,555	1,148,163
商品及び製品	1,392,098	1,624,251
仕掛品	156,682	188,644
原材料及び貯蔵品	1,678,941	1,529,714
その他	253,186	189,656
貸倒引当金	△353,873	△353,796
流動資産合計	19,891,972	20,480,430
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,790,733	9,780,705
減価償却累計額	△7,025,084	△7,053,270
建物及び構築物（純額）	2,765,648	2,727,434
機械装置及び運搬具	12,131,634	12,125,070
減価償却累計額	△10,492,577	△10,513,269
機械装置及び運搬具（純額）	1,639,056	1,611,801
土地	974,481	969,125
建設仮勘定	708,502	691,502
その他	962,999	1,016,837
減価償却累計額	△854,034	△851,249
その他（純額）	108,964	165,588
有形固定資産合計	6,196,654	6,165,452
無形固定資産		
ソフトウェア	172,395	153,653
無形固定資産合計	172,395	153,653
投資その他の資産		
投資有価証券	8,130,591	9,376,638
退職給付に係る資産	1,795,958	1,808,723
繰延税金資産	74,714	75,065
その他	666,437	671,393
貸倒引当金	△7,660	△7,660
投資その他の資産合計	10,660,042	11,924,161
固定資産合計	17,029,091	18,243,267
資産合計	36,921,064	38,723,698

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,846,305	3,074,189
電子記録債務	618,145	716,570
短期借入金	1,163,614	1,158,214
未払法人税等	372,380	289,534
賞与引当金	430,671	257,744
営業外電子記録債務	202,688	287,541
その他	1,014,006	1,439,041
流動負債合計	6,647,811	7,222,836
固定負債		
長期借入金	40,673	37,340
繰延税金負債	2,294,122	2,669,754
役員退職慰労引当金	77,883	81,786
退職給付に係る負債	210,077	213,689
資産除去債務	4,395	4,395
長期預り保証金	163,832	163,837
その他	5,740	8,236
固定負債合計	2,796,724	3,179,038
負債合計	9,444,535	10,401,874
純資産の部		
株主資本		
資本金	640,500	640,500
資本剰余金	289,846	481,269
利益剰余金	19,086,883	19,513,077
自己株式	△108,553	△108,651
株主資本合計	19,908,676	20,526,195
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,893,591	4,741,431
為替換算調整勘定	1,715,063	1,613,560
退職給付に係る調整累計額	1,195,057	1,155,486
その他の包括利益累計額合計	6,803,712	7,510,478
非支配株主持分	764,140	285,149
純資産合計	27,476,529	28,321,823
負債純資産合計	36,921,064	38,723,698

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	5,588,862	6,235,826
売上原価	4,495,615	4,876,535
売上総利益	1,093,246	1,359,290
販売費及び一般管理費	674,406	700,245
営業利益	418,840	659,045
営業外収益		
受取利息	6,539	4,341
受取配当金	97,033	111,009
その他	2,980	14,942
営業外収益合計	106,553	130,293
営業外費用		
支払利息	4,352	5,874
その他	0	2,129
営業外費用合計	4,353	8,003
経常利益	521,040	781,335
特別損失		
固定資産除却損	7,589	—
特別損失合計	7,589	—
税金等調整前四半期純利益	513,450	781,335
法人税、住民税及び事業税	126,297	196,605
法人税等調整額	336	430
法人税等合計	126,634	197,035
四半期純利益	386,816	584,299
非支配株主に帰属する四半期純利益	23,914	26,405
親会社株主に帰属する四半期純利益	362,901	557,893

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	386,816	584,299
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	221,063	849,325
為替換算調整勘定	△314,190	△112,781
退職給付に係る調整額	△20,897	△39,571
その他の包括利益合計	△114,025	696,973
四半期包括利益	272,790	1,281,272
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	280,371	1,264,660
非支配株主に係る四半期包括利益	△7,580	16,612

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報の注記)

(債権の取立不能のおそれまたは取立遅延について)

当社の連結子会社である㈱ネスコ（以下「ネスコ」といいます。）において、ネスコが納入した原材料を使用して製造した当該取引先の製品に不具合が発生したことを理由とする支払留保の通知があり、期日が経過しても売掛金が入金されない事態となりました。ネスコは製品不具合の詳細説明を求めるとともに、取引基本契約に基づき支払の履行を求める催告を行いました。当該の原材料のみならずすべての売掛金について支払がなされない状態が続き、取立不能のおそれまたは取立遅延が生じております。当第1四半期連結会計期間末の売掛債権残高381,755千円の取立不能のおそれまたは取立遅延の対象債権の回収のためにネスコは当該取引先を相手とした訴訟を2022年12月に提起しました。2026年6月4日付けで原告であるネスコの本請求を認める旨の判決文を被告である当該取引先が受領、控訴期限であった同6月18日までに控訴がなかったため、判決は同日に確定しており、当該取引先に対して支払い義務の履行を求めています。

なお、当該売掛債権は一定期間弁済がないため内規に基づき貸倒引当金を流動資産に計上しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	181,761千円	178,192千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	重包装袋	フィルム 製品	コンテナ	不動産賃貸	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	3,703,013	1,034,053	383,384	—	5,120,451	405,117	5,525,569
その他の収益	—	—	—	63,293	63,293	—	63,293
外部顧客への売上高	3,703,013	1,034,053	383,384	63,293	5,183,745	405,117	5,588,862
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,703,013	1,034,053	383,384	63,293	5,183,745	405,117	5,588,862
セグメント利益	335,430	83,235	11,920	35,129	465,715	56,908	522,623

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、包装用原材料、包装用機械、その他関連製品等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	465,715
「その他」の区分の利益	56,908
全社費用(注)	△103,783
四半期連結損益計算書の営業利益	418,840

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	重包装袋	フィルム 製品	コンテナ	不動産賃貸	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	3,924,648	1,402,081	448,542	—	5,775,273	398,934	6,174,208
その他の収益	—	—	—	61,618	61,618	—	61,618
外部顧客への売上高	3,924,648	1,402,081	448,542	61,618	5,836,891	398,934	6,235,826
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,924,648	1,402,081	448,542	61,618	5,836,891	398,934	6,235,826
セグメント利益	414,909	230,533	15,178	37,546	698,168	66,961	765,129

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、包装用原材料、包装用機械、その他関連製品等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	698,168
「その他」の区分の利益	66,961
全社費用（注）	△106,083
四半期連結損益計算書の営業利益	659,045

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。